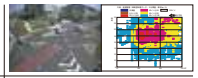
業務内容

建設コンサルタント業務（道路交通に特化し、様々な交通課題に対応）

交通調査・分析
- 交通調査
- 事故分析・交通安全対策
- 交通渋滞・容量分析
- ビッグデータ処理システム
- 利用者意識調査



交通運用
- 交通管制システム
- 交通マネジメント
- 交差点等の交通処理
- 規制時の交通影響検討

計画・設計
- 計画基準検討
- 交通量推計
- 都市計画・交通計画
- 道路空間設計・景観デザイン
- 標識設計・路面標示検討
- 整備効果分析

ビューシリーズ（調査技術を発展させた新しい技術の開発）

可搬式・高所ビデオ調査装置　ビューポール®

- 最大 10m の高さから撮影可能
- 人手で簡単設置、雨・雪・夜間 OK
- 映像のライブ配信も可能

交通量・速度・導線の調査　ビューリーダー®

- 録画した映像を PC に読み込んで室内で集計
- 交通量・速度・動線の調査
- ソフトウェアのレンタル＆映像解析サービス

駐車場の安全で円滑な運営　ビューパーク

- 駐車場の利用実態を AI 解析
- 人や車の挙動をデータ化・蓄積
- 不適正駐車や危険な事象などを把握して安全・円滑な運営

工事規制時の信号自動制御システム

- 工事規制で発生する渋滞を観知
- ライブ映像を AI で解析し、渋滞の末尾を把握
- 信号の切り替えを自動制御して渋滞前のバランスを保持

空撮ビデオ調査システム：ドローンの活用

- 空撮による広範囲な状況把握
- カメラを設置できない場所でも調査が可能
- 映像のライブ配信も可能

ビューポール&ビューリーダーをレンタルで

- 交通調査に新しいソリューションを
- 安全かつ正確な調査を実現します

業務提携企業：株式会社テック、ナウア株式会社、株式会社ワイ・シーソリューション

会社概要

商　　号	株式会社 道路計画 / Highway Planning Inc.
所 在 地	〒170-0013　東京都豊島区東池袋 2-13-14 マルヤス機械ビル TEL：03-5979-8855 (代) Email：info@doro.co.jp URL：https://www.doro.co.jp
設　　立	1981 年 2 月 23 日
資 本 金	15,000,000 円
業務登録	建設コンサルタント登録（建 06 第3270号・道路部門、都市計画及び地方計画部門） 測量業者登録 第(4)-3281号
社 員 数	技術職員 24 名　事務職員 1 名　計 25 名
有資格者数	博士（工学）：3 名 技術士：9 名（道路 9 名、都市及び地方計画 1 名） 交通工学研究会認定 TOE：4 名 測量士：1 名 一級土木施工管理技士：1 名 情報処理技術者（データベースペシャリスト）：1 名 情報処理技術者（応用情報技術者）：1 名

株式会社 道路計画

（2026 年 6 月現在）

株式会社 道路計画

流れをみつめ、未来を拓く

Mobility Innovation

Corporate Profile

1981 年の創業以来、私たちは交通渋滞の改善や交通事故の防止に向けた取組みとして、延べ 2,200 件以上のプロジェクトに携わり、貴重な経験と実績を積み重ねてきました。

世の中を見わたすと、ゴールデンウィーク・お盆などの繁忙期に発生する高速道路の大渋滞、著名観光地・大型商業施設での気が遠くなるような駐車場渋滞、大規模イベント開催時・列車やバスダイヤの乱れによる人の渋滞など、様々なシーンで渋滞が日常化しています。市街地に目を向ければ、幹線道路の慢性渋滞はドライバーを抜け道の利用へと誘い、安全なはずの通学路は危険な道路に変禁します。このように、渋滞は巻き込まれた人を疲労させ、集中力・判断力の低下やイライラなどによって事故を誘発するなど、さらに交通問題を悪化させるといった合併症を引き起こすことにもなります。

渋滞する地域や箇所は、その魅力ゆえに人や車が集まりますが、渋滞や事故が発生することでせっかくの魅力を損なう結果となっているのが実情です。このような日々の生活において身近で実感する交通問題を解決するためには、実態把握と原因分析が必須です。そのため、あらゆる現場において交通現象を観測する技術と、交通問題の症状を診断し、そして治療する技術を培ってきました。

私たちは**「豊かな暮らしは人や車が安全で円滑に移動できてこそ実現する」**との信念のもと、これまでに培ってきた交通診断技術にさらに磨きをかけ、社会に貢献できる技術コンサルタントを目指してまいります。

代表取締役社長
野中 康弘

当社は道路交通に特化した建設コンサルタントです。生活に欠かせない"移動"の円滑性と安全性の向上を図る「トラフィック・ドクター」として、様々な交通課題に取り組んでまいました。

身近なものでは交通渋滞。渋滞の真の原因は発症前に現れていることが多いのですが、この事実は一般にはあまり知られてはいません。この原因を探り、それに見合った対策を講じることが重要です。渋滞を治療するために、私たちは次のような手順で検討を行います。

渋滞を治療するには

検査
まず、自社開発のビデオ調査機器を使って実態を観測し、得られたデータを当社独自のシステムによって集計・可視化することで交通事象を精緻に分析・把握します。

▼

診断
交通事象の分析結果を元に経験豊富なエンジニアが渋滞のメカニズムを解明し、場所・時間に応じた渋滞の原因を発見します。

▼

治療
原因に合わせて交通流を改善する対策案を検討し、シミュレーションによって効果予測を行います。

企業の成り立ちとスピリット

MOV

創業者の理想と企業理念

名は体を表すと言います。その名の通り株式会社道路計画は道路交通を専門とする建設コンサルタントとして 1981 年に設立されました。創業者はエンジニアリング・ドクターの岩間猛。前間は当社を創業する以前の 1960 年代、東名・名神高速道路の設計にクロソイド曲線や透視図法など、当時最先端の最何構成技術を導入した世界の高速エンジニアです。岩間が目指したのは、技術に貢献な立場で、高品質な検討成果を提供する、道路交通に特化した技術コンサルタントの設立でした。

その意思を引き継ぎ、私たちは「資本の独立」「少数精鋭」「直営主義」この三つの企業理念のもと、業務を遂行しています。

資本の独立　少数精鋭　直営主義

100%自己資本による経営を行うことで企業の中立性を堅持し、技術力の高い自社スタッフによる執行体制によって技術に真摯に向き合い、高品質な検討成果の確保に努めています。またその中で、エンジニアの力量を発揮できる余地が残されているなら、それをとことん追求する。どんな時でも思考を止めることなく最適解を目指します。

信頼される技術コンサルタントであるために

技術コンサルタントとしてのノウハウを存分に発揮し、お客様のご要望に沿ったきめ細かなサービスを提供するために、私たちが業務を遂行するうえで常に心がけていることがあります。

■ データを過信しない

様々な交通データを扱いますが、取得したデータを過信することなくどんなデータを分析に選しているか、エラーや欠損がないか確認したうえで分析を行います。

■ 必ず現場を見て自分の目で確かめる

机上の検討だけでは知り得ない情報が現場にはあります。私たちは現場を観察することを重視し、自分の目で確かめます。そのための調査技術を保有していることも私たちの強みです。

■ 検討結果の妥当性をあらゆる角度からチェックする

一呼吸置いて多角的な視点で分析結果の確認・検証を行い、議論しながら考察を深め、検討の精度を高めます。

■ クライアントの立場に立って資料を作る

目的を達成できる資料になっているか、その先にいる人々にとって利用しやすい道路空間が実現できるか、客観的視点に立って作り込みを進めます。